

(別紙1)

業務仕様書

1. 業務の目的

大樹町（以下「町」という。）では昭和60年より「宇宙のまちづくり」が進められ、1,000mの滑走路を有する多目的航空公園やJAXAの実験施設では日々様々な研究・開発実験が行われている。

また、令和7年3月末には、新たなロケット射場「Launch-Complex1」（以下「LC-1」という。）が完成予定である。

本業務は、LC-1の完成後、当該ロケット射場の運営へのコンセッション方式の導入可能性及び「北海道スペースポート」の実現に向けた我が国初のスペースポートコンセッションの可能性を調査する業務である。

本業務では、LC-1の運営手法（事業スキーム）の網羅的な検討、周辺施設との一体的活用や宇宙版シリコンバレー等の実現に向けた周辺連携手法の検討、これらを考慮した運営権及び事業範囲の検討、民間事業者への意向調査（ヒアリング）、VFM（バリューフォーマナー）の簡易試算及び実施方針案を作成することを目的とする。

2. 業務の内容

(1) ロケット射場運営におけるコンセッション制度の適用内容調査・分析業務

- ・ ロケット射場運営ビジネスモデルを調査、分析すること
- ・ コンセッション制度を適用するにあたっての課題を整理し、分析すること

(2) 事業スキームの検討業務

下記の論点の整理及び検討を行い、実施方針（案）を作成すること

- ・ 射場コンセッションの事業スキーム手法を整理、検討すること
- ・ コンセッションと一体的な周辺エリアの活用手法を整理、検討すること
- ・ 想定されるSPCの法的形態及びストラクチャーを整理、検討すること
- ・ 運営権設定の範囲及び業務範囲を整理、検討すること
- ・ 射場コンセッションにおけるリスクを抽出し、リスク分担を整理、検討すること
- ・ 町によるモニタリングにおける論点を整理、検討すること

(3) 民間事業者の意向調査業務

- ・ 想定される民間事業者への意向調査（ヒアリング）を行うこと

(4) 射場コンセッションを導入する場合におけるVFMの簡易試算

- ・ コンセッション導入時におけるVFMを簡易的に試算すること
- ・ 運営権対価等の、射場運営における収益配分等のあり方を整理、検討すること

(5) コンセッションを導入する場合における事業全体スケジュール策定支援

- ・ コンセッションを導入する場合における、事業開始までのスケジュールの策定を支援すること

(6) 報告書の作成

3. 履行期間

契約締結日の翌日から、令和6年3月29日（金）までとする。

4. 成果品

提出する成果品は下記のとおりとし、紙媒体及び電子データで提出する。

- ① 仕様書で実施した業務を取りまとめた報告書 2部
- ② 上記成果品のPDFデータを格納した電子媒体（CD-ROM等）1部

5. その他

本仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた事項に関しては、発注者と受注者で協議の上処理するものとする。